

## 家畜損害防止関連情報

### ◆獣医師との上手な付き合い方のために

#### ●観察をしっかりと

できるだけ、家畜と接する時間を長く持つことです。家畜の体を洗う、ブラッシング、ヨロイ落としなど。ふだんからこうしたことを繰り返すことで、人を恐れずおとなしくなり、皮膚の異常、脚の異常、食欲、熱、元気など、家畜の健康状態をチェックできるようになります。これらのことは、私たち獣医師が診療するうえでもたいへん参考になることなのです。

#### ●電話連絡は早く

早期発見、早期治療が大切なことは言うまでもありません。早めに電話などで連絡していただければ、それだけ獣医師も余裕をもって診療にあたることができます。一般的に診療所では受付順に、その日の診療を行いますので、受付時間後の診療依頼は遅くなる場合があります。急患を除いては、時間内に受け付けを済ませてください。

#### ●分べん日の確認を

ほとんどの病気は分べんと関係がありますので、まず、いつ子牛が生まれたか、分べん月日を確認しておいてください。また、畜主にとって都合が悪いこと（自家治療、他獣医師の診療、盗食、激しい強制運動など）も隠さずに知らせてください。そうしないと誤診や診療が長引く原因にもなりかねません。